

“お部屋にアートを飾るように、インテリアを選ぶような気持で。
ちょっと楽しく備えてほしい。”

デザイン消火器 CREATORS' MODEL 新発売

住宅用強化液消火器

消火器や自動消火システムなどの販売・施工・メンテナンスを一貫して手がける総合防災メーカー・株式会社初田製作所（本社：大阪府枚方市、代表取締役社長：初田 和弘）は、2022年5月11日（水）より、住宅用消火器に新たな商品ラインナップを追加、オンラインショップにて販売開始いたしました。初回は3名のクリエイター様にご協力いただき、個性的な10種類を展開中です。

<https://hatsuta.base.shop/>



消火器って“赤色”でなくてもいいの？

法令で設置義務のある消火器（業務用）は、表面積の25%以上が赤色でなければいけないという決まりがあります。しかし、消火器の設置が法令で義務付けられていない住宅用消火器に関しては、色の定めがないということが一般的にはあまり知られていません。

子育て世代（20～50代）を中心にアンケートを行った際、「普通の消火器を部屋に置くのは抵抗がある」「かわいいものなら部屋のアクセントになりそう」などご意見をいただきました。また、「住宅購入や子供が産まれて準備しておきたい」というご意見がある一方、「実家にはあるが、自分では買っつけがなかった」、「プレゼントされたら嬉しい」というお声をいただき、ギフト需要へ対応。パッケージを見直し、お客様が購入しやすいようオンラインショップにて展開します。

新パッケージデザイン



<報道関係の方からのお問い合わせ先>

株式会社初田製作所 防災事業部 担当小野寺・辻本 TEL：03-6432-4464 MAIL：kikaku@hatuta.co.jp

住宅用消火器設置に関する課題

消火器の使用期限は、一般的な消火器（業務用）で 10 年、住宅用の消火器で 5 年です。日本消火器工業会と消火器リサイクル推進センター調べによると※一般家庭の消火器設置率は 43.3%です。しかし、このうち 10 年以上経過し、使用期限が切れている消火器は全体の 21.8%でした。この結果からも全国の住宅に使用期限が切れた多くの消火器が退蔵しているとみられます。事故防止の観点からも新しい消火器への交換、古い消火器の回収が求められています。

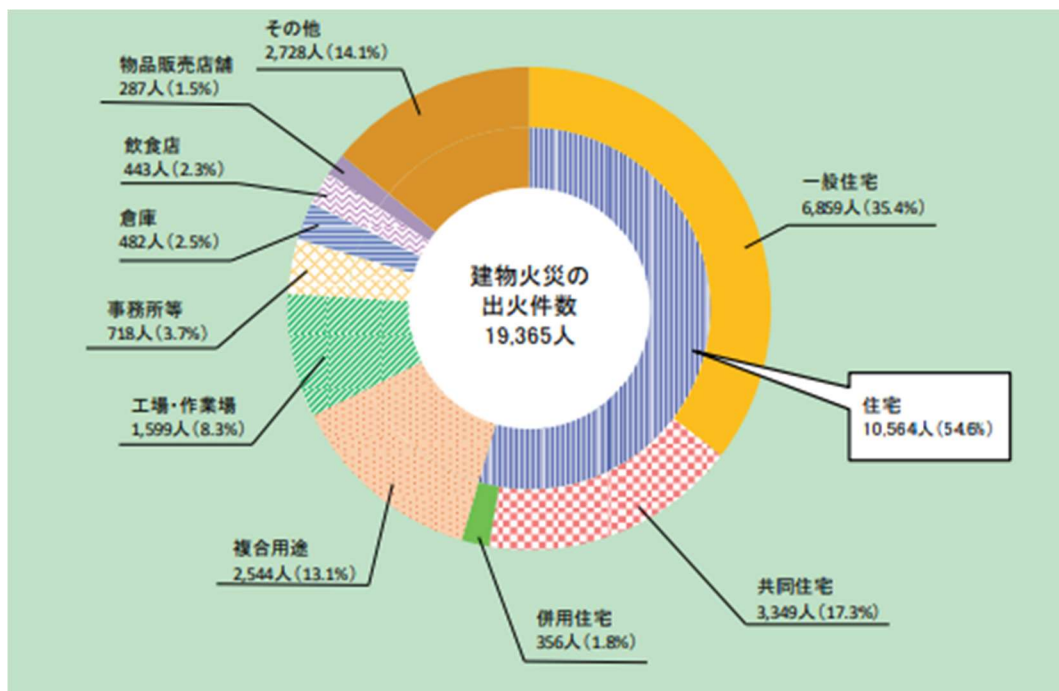
※2020 年 9 月「一般家庭の消火器保有・廃棄に関する実態調査」

https://www.ferpc.jp/wp-content/uploads/2021/03/2020_recycle-report.pdf

火災の現況（1日あたり95件の火災が発生）

総務省消防庁の発表※によると、令和 2 年中の出火件数は 3 万 4,691 件。1 日あたりでみると 95 件の火災が発生していることとなります。この出火件数のうち建物火災が最も高い比率を占めており、中でも住宅火災が 1 万 564 件と最も高く、建物火災全体の 54.6%を占めています。出火原因は、こんろの消し忘れ、たばこの不始末、電気機器に起因するものが多くなっています。

また、火災の発生時には、消火器を使用した初期消火が 18.9%の割合で行われており、初期消火が行われたものの中で最も高い割合になっています。その一方で、初期消火が行われなかったものは 35.9%となっています。



※令和 3 年版 消防白書

<https://www.fdma.go.jp/publication/hakusho/r3/63931.html>

※令和 3 年版 消防白書（火災予防）

https://www.fdma.go.jp/publication/hakusho/r3/items/part1_section1.pdf

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

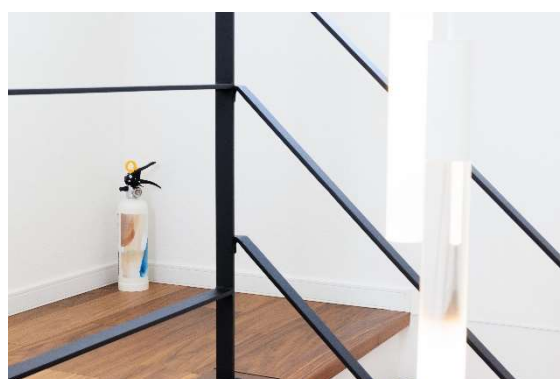
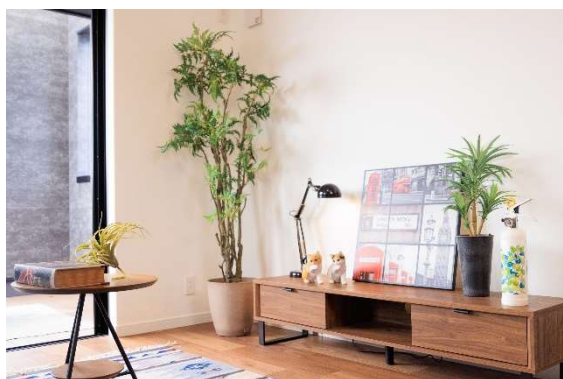
株式会社初田製作所 防災事業部 担当小野寺・辻本 TEL : 03-6432-4464 MAIL : kikaku@hatuta.co.jp

企画担当 防災事業部 小野寺さんコメント

弊社は2014年からキャラクターの絵柄が入った住宅用消火器を展開しておりました。私自身、入社した際にその商品を見て「住宅用なら赤い消火器じゃなくてもOKなんだ！」と知りました。せっかく置くなら、インテリアや雑貨を選ぶ感覚で楽しく備えてもらえたらいいなあと思ったことがこの商品企画のきっかけです。この業界に入り、ニュースで流れる火災はほんの一部、思っていた以上に住宅火災が多いことに驚きました。核家族世帯も増え、いざという時にすぐ誰かに頼れる環境が当たり前ではないと思います。消火器がそんな人にとって「お守り」になればうれしいです。

消火器を使わずに済むのが1番の願いですが、自分の大切な人や離れて暮らす家族への「お守りギフト」として候補にいただければ幸いです。

もしもの時、すぐ使える場所への設置がおすすめ



<https://hatsuta.base.shop/p/00001>

■住宅用強化液消火器

消火薬剤には液体タイプの「強化液消火薬剤」を採用。冷却作用と浸透性に優れており、特に天ぷら油火災には抜群の消火能力を発揮します。一般的に広く普及している粉末消火器と異なり、放射時は視界を遮ることもなく確実に火元が狙え、放射後のお掃除もふき取るだけで簡単に処理ができます。

操作は簡単、黄色い安全栓を抜いて、レバーを握るだけ。一般的な消火器よりも軽く、使いやすい仕様です。

※一度使用した消火器は、保管して再利用することはできません。速やかに新しい消火器に交換してください

■適応火災：普通（木・紙・ふとん・ゴム・合成樹脂等）、天ぷら油、ストーブ、電気火災

サイズ：直径 8.9 cm×高さ 38.5 cm

総重量：約 2.7kg

規格：国家検定合格品

型式番号：消第 23～189 号

消火薬剤：強化液(薬第 6～1 号) 1 L

放射時間：約 22 秒

放射距離：4～6 m

使用温度範囲：-20℃～+40℃

使用期限：製造年より 5 年

価格：12,000 円（税込、リサイクルシール代込）

本体色：ホワイト（5種）、ブラック（3種）、レッド（2種）

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

株式会社初田製作所 防災事業部 担当小野寺・辻本 TEL：03-6432-4464 MAIL：kikaku@hatuta.co.jp

クリエイターについて

<https://hatsuta.base.shop/p/00002>

■ Takuji Omori

大阪芸術大学大学院修了。株式会社インターブランドジャパン、ネオス株式会社などを経て2013年クリエイティブスタジオ CANVAS 設立。

自然と人の共生をテーマにデザインを行う。自然素材を取り入れたブランディングやグラフィックデザイン、動植物をモチーフにしたアートワーク制作を多く手がけるほか、環境をテーマにしたポスターは国内外で高い評価を受ける。

JAGDA（日本グラフィックデザイン協会）正会員。



■ 模様デザイナーmaya

事務、ファッション・テキスタイルデザイナーを経験。働きながらテキスタイルのデザインコンペに応募し、数々の賞を受賞。

その後フリーランスの模様デザイナーに。生地だけでなく幅広く活動したいため“模様デザイナー”と自分で肩書を作る。

自然が育んだ風景や風物の美しさをそのまま閉じ込めたいという想いと手描きの柔らかさや偶発性を大事にしながら「花」「蝶」「風」をテーマにした模様を描いている。



■ イワタニ ユウスケ

名古屋在住のイラストレーター。

日常をきりとり、いろんな人や物に

スポットライトをあてていきます♪



■ (撮影) 伊賀上 将司

10,000人規模の企業でマーケティング、映像制作事業に7年間携わり、知識と技術を習得後、2020年 Koala Production を設立。

- ・2002年関西学生映画祭 グランプリ受賞
- ・2003年西日本学生映画祭 審査員特別賞受賞

- ・2010年映像制作キャンプ企画

日本キャンプ協会の日本一企画賞「MIP賞」受賞

- ・2013年東証1部企業にてマーケティング・映像/写真制作に携わる



<報道関係の方からのお問い合わせ先>

株式会社初田製作所 防災事業部 担当小野寺・辻本 TEL : 03-6432-4464 MAIL : kikaku@hatuta.co.jp

株式会社初田製作所について

初田製作所は、創業以来、「人命・財産・文化を火災から守る」を企業理念とし、社会・公衆の安全を提供し続けるために企業活動に取り組んでいます。

【会社概要】

社名：株式会社初田製作所

本社所在地：大阪府枚方市招提田近 3-5

代表取締役：初田和弘

創業：1902年12月1日

設立：1947年8月19日

事業内容：各種消火器、消火設備、自動消火システム、防災商品の製造・販売、施工、メンテナンス、損害保険代理店業

HP：<https://hatsuta.co.jp/>

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

株式会社初田製作所 防災事業部 担当小野寺・辻本 TEL：03-6432-4464 MAIL：kikaku@hatuta.co.jp